

<参考資料> アンケート

人材確保・定着対策に関するアンケート調査票

- 記入に当たっては、各質問の注意書き等を踏まえて、記入（選択回答については、当てはまる数字をチェック）してください。
 - 特に指定のない項目は、令和5年6月1日現在で記入してください。
 - アンケート調査票（回答用紙）は両面印刷になっております。
 - アンケートは2次元バーコードを読み取っていただくと、スマホやPCからも回答できます。
Windows10以上のカメラ付きパソコンをご利用の場合
※お使いの環境やバージョンによっては、表示される画面が異なります。
 1. 「スタート」ボタン→「カメラ」の順にクリックします。
 2. カメラアプリが起動します。
 3. 右側のメニュー（アイコン）から「バーコード」を選択します。
 4. カメラにQRコードを映します。
 5. 読み取りができると、画面にURLが表示されますのでURLをクリックします。
 6. ブラウザが起動し、回答フォームが表示されます。
- ご記入いただいたアンケートは、同封した返信用封筒に入れて、**令和5年6月30日(金曜日)**までに投函してください。（切手は不要です。）
- 結果は、東京都ナースプラザ事業及び東京都のサービス向上に役立ててまいります。
- アンケートの結果は統計的に取りまとめ、公表することがありますので、予めご了承ください。
- データや情報の管理は厳重に行います。収集した調査票とデータは東京都ナースプラザが責任をもって処分します。
- ご回答いただいた事業所名・担当者名など、事業所（法人）や個人が特定できるような情報については、事前の承諾なく公表することはありません。
- 記入方法等でご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。
東京都ナースプラザ 庶務係：(情報発信強化担当)
TEL 番号：03-5309-2063 FAX 番号：03-5309-2064
メールアドレス：syomu@np-tokyo.jp



アンケート実施機関：東京都ナースプラザ/設置主体：東京都

設問1 貴事業所の種別を選択してください。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> ① 病院（急性期中心） | <input type="checkbox"/> ② 病院（回復期中心） |
| <input type="checkbox"/> ③ 病院（慢性期中心） | <input type="checkbox"/> ④ 精神科病院 |
| <input type="checkbox"/> ⑤ 有床診療所 | <input type="checkbox"/> ⑥ 無床診療所 |
| <input type="checkbox"/> ⑦ 助産所 | <input type="checkbox"/> ⑧ 訪問看護ステーション |
| <input type="checkbox"/> ⑨ デイサービス、デイケアセンター | <input type="checkbox"/> ⑩ ⑧⑨以外の居宅サービス事業所 |
| <input type="checkbox"/> ⑪ 介護老人保健施設（老健） | <input type="checkbox"/> ⑫ 介護老人福祉施設（特養） |
| <input type="checkbox"/> ⑬ ⑪⑫以外の高齢者施設 | <input type="checkbox"/> ⑭ 障害者支援施設 |
| <input type="checkbox"/> ⑮ 児童福祉施設 | <input type="checkbox"/> ⑯ 行政機関（保健所、地域包括支援センター等） |
| <input type="checkbox"/> ⑰ 大学・養成所等の教育機関 | <input type="checkbox"/> ⑱ 健診センター・企業内診療所 |
| <input type="checkbox"/> ⑲ 新型コロナウイルス関連施設 | |
| <input type="checkbox"/> ⑳ その他（ | ） |

設問2 貴事業所で採用している看護職員の雇用形態を選択してください。

※あてはまるものすべてにチェックしてください。

- ① 常勤（フルタイム正職員）
- ② 常勤（短時間正職員）
- ③ 非常勤（パート・アルバイト）
- ④ 定年後再雇用（正職員とは別の雇用形態での再雇用）
- ⑤ 契約社員
- ⑥ 派遣社員
- ⑦ その他（)

設問3 貴事業所の看護職等の構成を教えてください。

	常勤（フルタイム正職員）(人)	フルタイム正職員以外(人)
① 看護職		
② 准看護師		
③ 看護補助者		

設問4 人材募集で利用している媒体や主な採用経路を選択してください。

※あてはまるものすべてにチェックしてください。

- ① eナースセンター
- ② ハローワーク
- ③ 有料職業紹介事業者
- ④ 人材派遣会社
- ⑤ 新聞折込広告・チラシのポスティング
- ⑥ 求人情報誌・タウン誌・フリーペーパー
- ⑦ インターネット広告
- ⑧ 合同就職説明会
- ⑨ 自院（法人・事業所）のホームページ・SNS
- ⑩ 院外（事業所外）へのポスター（張り紙）掲示
- ⑪ 職員からの紹介・口コミ
- ⑫ インターンシップ・実習生の受入れ
- ⑬ その他（)

設問5 看護職に実施したアンケートでは、「技術や知識」「責任や医療事故」に不安を感じ、再就職に踏み出せない看護職が多い結果となっています。

貴事業所で実施している知識・技術への不安解消への取組みはありますか。

※あてはまるものすべてにチェックしてください。

- ① 見学会・体験会・インターンシップの導入
- ② 入職前の職場体験などが目的の試用期間（体験入社）
- ③ 入職時における技術トレーニング期間の設定（経験やスキルに応じた研修の実施）
- ④ 入職後の不安な知識・技術を補う研修・学習会・eラーニングの実施
- ⑤ 技術チェックリストによる技術力の評価・サポート
- ⑥ プリセプター・同行訪問などのサポート体制
- ⑦ 外部研修への参加
- ⑧ 取組みは実施していない
- ⑨ その他（)

設問6 貴事業所の人材確保・定着対策の課題は何ですか。

※あてはまるものすべてにチェックしてください。

- ① 応募者がいない
- ② 紹介業者を利用しているためコストがかかる
- ③ 専従の人事担当者がいない
- ④ 日勤のみの希望が多い（夜勤の応募者が少ない）
- ⑤ 短時間勤務等の勤務時間の選択・自由度が少ない（勤務日数・時間が固定しているなど）
- ⑥ 適正な評価体制が構築できていない（評価制度・能力開発・キャリアアップなど）
- ⑦ 人材育成を任せられる職員がいない（人材育成がうまくいかない）
- ⑧ 人材育成（能力開発）に必要な予算がない
- ⑨ 育児・介護支援などの取組ができていない
- ⑩ 良好な人間関係、職場づくりの推進が不十分
- ⑪ 仕事内容に対する不満への対応（多忙・看護業務以外の前残業・他業種協働への不満など）
- ⑫ 給与・福利厚生など待遇の改善ができていない
- ⑬ 職員の心と体の健康管理
- ⑭ いじめ・ハラスメント、暴言・暴力対策など
- ⑮ 特にない
- ⑯ その他（)

設問7 貴事業所の看護職員の離職理由として考えられる原因を選択してください。

※あてはまるものすべてにチェックしてください。

- ① 出産・育児
- ② 転居のため
- ③ 本人の健康状況
- ④ 家族の健康・介護状況
- ⑤ 看護の知識・技術への不安、責任の重さを感じていたため
- ⑥ 看護に魅力を感じなくなったと思われる
- ⑦ 看護以外への興味

選択肢は次頁に続きます。

- ⑧ 看護職として新たな経験・成長のため
- ⑨ 業務多忙・労働（拘束）時間が長い
- ⑩ 不規則勤務・夜勤が体力的につらい
- ⑪ 勤務条件への不満（給与・福利厚生等）
- ⑫ 待遇への不満（キャリアアップの機会がない等）
- ⑬ 休暇を取得しにくい
- ⑭ 職場の人間関係（セクハラ・パワハラを含む）
- ⑮ 職場の医療・看護の質・内容への不満
- ⑯ 教育・研修制度への不満
- ⑰ 入職前のイメージと現実の乖離（リアリティショック）
- ⑱ 経済的に働く必要がなくなった
- ⑲ 進学のため
- ⑳ 定年のため
- ㉑ 退職理由は把握していない（把握できていない）
- ㉒ その他（)

設問 8 貴事業所で取り組んでいる人材確保・定着対策があれば選択してください

※あてはまるものすべてにチェックしてください。

- ① 多職種の役割分担・連携の推進
- ② 看護ケアの分業の推進
- ③ チーム医療の推進
- ④ 看護補助者の活用（タスクシフト/シェア）
- ⑤ IT 技術の導入による業務の効率化と身体的負担の軽減
(オンラインによる診療や予約システム、電子カルテなど (ICT・DX の利活用))
- ⑥ 派遣・ダブルワーク職員の採用
- ⑦ 夜勤手当の増額
- ⑧ 勤務シフトの工夫
- ⑨ 休暇取得の促進（年次有給休暇を取得しやすい環境整備・意識改革など）
- ⑩ 院内保育所・休憩スペース等の整備
- ⑪ 短時間正職員制度の導入
- ⑫ 子育て中・介護中の者に対する配慮（夜勤・残業の免除など）
- ⑬ 暴力・ハラスメントへの組織的対応
- ⑭ 配置転換
- ⑮ キャリア形成の支援・評価の見直し（資格取得支援とその活用など）
- ⑯ 給与体系の見直し
- ⑰ 福利厚生の見直し
- ⑱ 研修の開催時間・時期などの見直し
- ⑲ メンタルヘルスケアへの組織的対応
- ⑳ 見学会・体験会・インターンシップの導入

選択肢は次頁に続きます。

- ②① ラダー教育プログラムの導入
- ②② プラチナナースの活用
- ②③ 取り組んでいる人材確保・定着対策はない
- ②④ その他 ()

設問 9 夜勤は体力的にも精神的にも負担となり、時に離職の要因につながります。

夜間勤務者の確保・定着にあたり、取り組んでいることはありますか。

※あてはまるものすべてにチェックしてください。

- ① 勤務拘束時間（1回の夜勤の長さ）の調整
- ② 勤務間インターバルの設定
- ③ 仮眠環境の整備
- ④ 勤務編成の工夫・見直し
- ⑤ 休憩時間の確保
- ⑥ 夜勤専従職員の雇用
- ⑦ 特に実施していない
- ⑧ 夜勤はない
- ⑨ その他 ()

設問 10-1 医療や介護・福祉現場での質の高いサービスの提供や働き方には、デジタル活用も解決策の一つとされています。

貴事業所の情報通信技術（ICT）やデジタル技術の活用による改革（DX）について選択してください。※いずれか1つのみチェックしてください。

- ① 導入している
- ② 導入していないが、導入を予定・検討している
- ③ 導入しない

設問 10-2（上記①または②を選択した方にご回答ください。）

導入・検討している ICT・DX 等があれば、種類を選択してください

※あてはまるものすべてにチェックしてください。

- ① WEB 予約システム
- ② 電子カルテ
- ③ 受付・案内などのサービス
- ④ 看護・介護サービス利用者とのコミュニケーションツール
- ⑤ 遠隔診療支援システム
- ⑥ スマートフォンなどを活用した情報共有・管理システム
- ⑦ 手術支援ロボット
- ⑧ 調剤支援ロボット
- ⑨ 自立支援ロボット
- ⑩ 介助支援ロボット
- ⑪ その他 ()

設問 12 (任意回答)

取組みなどについて、より詳しい内容を伺う場合がございます。
差し支えなければ、事業所名・ご担当者名をご記入ください。

事業所名 (任意)

ご担当者名・ふりがな (任意)

(担当者名)

(ふりがな)

部署名・役職 (任意)

電話番号 (任意)

— —

メールアドレス (任意)
